



# ブナセンターだより 6月号

発行：ブナセンター No.348 2022, 6, 1

今月のごあんない

## 新型コロナウイルス感染症対策

- ◎参加の際は、検温とマスクの着用をお願いします
- ◎感染状況によっては中止や内容等を変更する場合があります

## ■森へ行こう

### 「北海道フラワーズン 2022」

5年に一度、北海道全域で野の花を一斉に調査する「北海道フラワーズン」（北海道新聞野生生物基金主催）に、ブナセンターも参加します。すでに正式なエントリーは終了していますが、興味のある方は、調査結果などのお知らせをしますのでご連絡ください。

【日程】6月18日(土)・19日(日)

【時間】両日とも9:30～15:30

【集合】ブナセンター(9:30)

【調査地】1日目(予定)

- ①森林公園(森林療法コース)
- ②寺の沢川
- ③黒松内駅周辺など

2日目(予定)

- ①歌オブナ林(終点往復)など

【雨天の場合】中止

※雨で1日だけ実施の場合、調査地を変更する場合があります



## ■わくわく土曜日ランド

### 「黒松内グレート・トラバース」

黒松内の“とある場所”を、地図を片手に「トラバース」(山越え)します。場所は当日のお楽しみ!

【日程】6月26日(日)

【時間】10:00～15:00

【集合】ブナセンター(9:55)

または町民センター(9:45)

【定員】10名(町内小学生対象)

※初参加の1年生は保護者同伴をお願いします

【持ち物】野外で活動できる服装、長靴(または汚れてもいい運動靴)、昼食、敷物、飲み物、着替え一式、リュック

【参加費】300円

◎荒天の場合は室内プログラム

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

※詳しくは学校配布のチラシにて

今回は日曜日です。お間違いなく!

## 企画展

### 黒松内の樹木～花と実～



5月29日(日)までブナセンターで開催中!

6月2日(木)～14日(火): マナヴェールに出張展示  
解説パネルや標本、写真を展示するほか、季節の樹木の花なども展示予定!



ホオノキの花

## 工房からのお知らせ

### 陶芸教室

※講師が不在の木曜日と夜間(18:30～20:30)は工房開放日で使用料が無料となります

飯椀づくり (定員5名・要申込み)

講師: 池田富次先生(蘭越町・道里夢-Dream)

6月2日 18:30～20:30

電動ろくろを使います。初めての方にもおすすめ。

参加費: 600円

### 木工教室

道産材のはし&ケースづくり (定員4名・要申込み)

講師: 吉澤俊輔先生(島牧村・さくらの咲くところ家具工房)

6月9・16・23・30日 18:30～20:30

製材から行う4日間連続講座です。かんながけなど木工の基本技術を学びましょう。参加費: 500円

## 黒松内版・森林療法体験会

## 「森林ウォーキング」②

【日時】6月25日(土) 9:00～12:00

【場所】温泉横の森林公園コース

【内容】森林浴を楽しみながらのウォーキング  
+「五感」を刺激する癒しと健康のプログラム(今月のテーマは「野草茶」)

【参加費】300円 ◎要申込み

【主催】森林療法実践プロジェクト(事務局ブナセンター)

対象: 黒松内町民の方



4年目を迎えた「森林療法実践プロジェクト」。森林ウォーキングの効果は2週間程続くので、昨年からは1回の「森林ウォーキング」イベントの合間に、歩くだけの「おさんぽの会」も開催しています。継続してウォーキングを楽しみましょう。

### おさんぽの会

6月10日(金)

10:00～12:00

\*集合: 温泉前

\*参加費: 無料

\*申込み: 不要

◎詳しくはチラシなどでご案内します

くろまつないQ  
クエスチョン

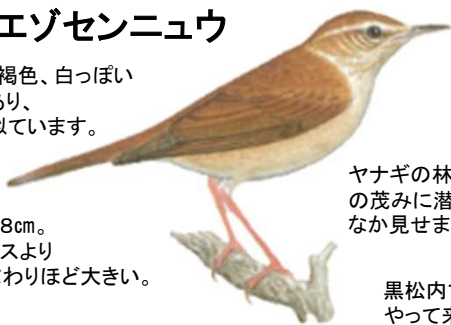
# ジョツピン、かけたか！ ～これ、何の声？～

「ブナ林に咲いていたこの花なんでしょう？」  
「森林公園にあったこのキノコわかりますか？」など、  
ブナセンターには、黒松内の自然に関するさまざまな  
質問が寄せられます。なかでも6月になると、町内の  
みなさんから一番多く聞かれるのが「今時期、一晩中、  
大きな声で鳴いているこの声、何ですか？」です。

## こたえ「ジョツピン、かけたか！」の声の主はエゾセンニュー(センニュー科)

### エゾセンニュー

体の色は茶褐色、白っぽい  
肩ラインがあり、  
ウグイスに似ています。



体長18cm。  
ウグイスより  
ふたまわりほど大きい。

ヤナギの林やオオイトドリ  
の茂みに潜み、姿はなか  
なか見せません。

黒松内で、もっとも遅く  
やって来る夏鳥です。

6月中旬から7月にかけての繁殖期に、夕方から早朝  
まで夜通し、大きな声で「ジョツピン、チャカチャカ！」  
あるいは「トツピン、カケタカ！」と鳴く鳥です。  
北海道では「ジョツピンかけたか？」(北海道の方言で  
「鍵かけたか?」)と聞きなし(※)ます。

黒松内では、河畔林の茂み、農地周辺のササやぶは  
もちろん、町民センター裏手など、市街地の草やぶで  
も鳴いています。

※聞きなし・・・鳥の声を節まわしを、  
それに似た言葉に置き換えること。

## 補足情報 鳴き声がよく似ているホトギス(カッコウ科)

トッキョ!  
キョカキョク!



「特許許可局！」と  
聞きなしされます。  
エゾセンニューより  
テンポが速い。

### ホトギス

体長28cm。  
カッコウ・ツツドリよりかなり小さい。  
平地から山地の林、草地などに生息。  
カッコウ、ツツドリと違い、  
昼でも夜でも鳴く。

姿はそっくりのカッコウの  
仲間3種。鳴き声の特徴  
的なので区別できます。

エゾセンニューは、「ジョツピンかけたか？」という鳴き声がホトギスに  
似ていることから「エゾホトギス」の別名もあります。

ホトギスは、古来、和歌や俳句に詠まれるなど、日本人に馴染みの  
深い鳥のひとつですが、北海道では稀な鳥です。「主に渡島半島の南  
部に生息。他の地域では稀だが、今後は分布を拓げていく可能性が  
ある」と図鑑には記載されています。黒松内でも30年ほど前まではい  
ませんでした。20年くらい前から時々声が聞かれるようになり、ここ  
10年は毎年のように声が聞かれ、姿も目撃されています。

ホトギスは夜も鳴くことがあるので紛らわしいのですが、エゾセンニュー  
の方がずっと大きくよく通る声です。

カッコー!  
カッコー!



### カッコウ

体長35cm。  
平地から山地の開けた林、草原、  
農耕地など、明るく開けた環境が  
混在する場所に生息。

ポポ！ポポ！



### ツツドリ

体長33cm。  
平地から山地の森林に生息。  
ポポの2拍子はブナ林でも  
おなじみ。

今後もこのコーナーで皆さんからの質問に  
お答えしていきますので、黒松内の自然に  
関する疑問・質問を、どしどしお寄せくだ  
さい！

イラスト：「鳥630図鑑」(日本鳥類保護連盟)  
「野鳥観察ハンディ図鑑・山野の鳥」(日本野鳥の会)より  
参考文献：「北海道野鳥図鑑」(亜璃西社)  
「さっぽろ野鳥観察手帖」(亜璃西社)

### 【6月の休館日】

6・7日 / 13・14日 / 20・21日  
27・28日

ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です  
◆祝祭日は開館します◆

- 「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。
- 「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の84円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440

メール [bunacent@host.or.jp](mailto:bunacent@host.or.jp) HP <http://bunacen.host.jp/> fb <https://facebook.com/kuromatsunai.bunacent>